

技術委員会

建設技術フェア2015in中部

今回で19回目を迎えた「建設技術フェア2015in中部」が10月21日・22日の2日間、吹上ホールで開催されました。中部地方整備局と名古屋国際見本市協会の主催で、防災・災害対策など5分野に昨年を上回る207技術(251社、329小間・土間)を展示しました。アイドルユニット「dela(デラ)」もオフィシャルサポーターとして参加しました。

オープニングセレモニーでは、茅野牧夫中部地方整備局長、河村たかし名古屋市長、井上和幸日本建設連合会中部支部長が挨拶をされました。

両日も晴天に恵まれ、屋外展示場ではドローンや建設機械などロボット技術の実機実演も行われました。

道建協の社会・環境貢献活動指針に基づき、初日である21日にプレゼン会場にて青野俊弘支部長が道の駅「あやま」(三重県伊賀市)の管理者、伊賀市役所商工労働課の伊藤隆之主査に贈呈証とAED本体、目録を手渡しました。会場では、AEDの機器説明や取り扱いのデモンストレーションも実施されました。

